

令和8年度 春季東濃地区高校野球大会 実施要項

1. 主催 岐阜県高等学校野球連盟（主管：岐阜県高野連東濃支部）
2. 期日 令和8年3月20日（木）～3月30日（月）
予備日：3月31日（火）～4月4日（土）
3/23・25（終業式）、3/24（二次選抜合格発表）、4/1（職員会議）を除く
3. 会場 土岐市総合公園野球場、中津川公園野球場
4. 参加校 東濃地区 **9チーム**
 - ・多治見工
 - ・多治見
 - ・土岐商
 - ・麗澤瑞浪
 - ・土岐紅陵
 - ・中津商
 - ・中津川工
 - ・中津
 - ・六校連合（八百津 瑞浪 恵那南 羽島 山県 不破）**

※中京高校は地区大会免除

※秋季大会の結果より、中津商を第1シード、土岐商を第2シード、麗澤瑞浪を第3シードとする。

5. ベンチ人員 部長・副部长・監督・記録員 選手 20名以内
6. 試合方法 P2参照
7. 提出物
 - ・大会参加申込書（地区大会・岐阜県様式から作成する）
 - ・球数確認表
 - ・試合球 ZETT（BB1202N）試合毎
8. 規則 高校野球要覧申し合わせ事項によるものとする。
9. 試合開始時間

3試合	9:00	11:30	14:00
2試合	10:00	12:30	
1試合	10:00		

10. 申し合わせ事項

- (1) 第1試合の両校は試合開始の準備をする。当番校の部長は試合開始1時間前までに集合する。
- (2) 原則として晴雨にかかわらず、試合開始1時間半前には会場に到着する。
（試合開始時間に遅れた場合は、規定に従う）
- (3) 勝利校は次の試合の準備（グラウンド整備）をする。最終試合は両校で片づけをする。
- (4) 試合と試合の間は約40分とする。
- (5) 全ての試合にコールドゲームを適用する。試合の途中7回以前に日没になった場合は、その試合を継続試合とする。ただし、照明が点灯できる場合は点灯して行う。
- (6) 本部に大会参加申込書を提出し、選手は背番号をつける。
- (7) 試合運営は当番校制とし、1試合を担当する。最終試合の勝利校が報告を担当する。
- (8) 両チームの監督、主将は試合終了後、審判控え室で指導を受けることができる。
- (9) ボール回しは試合時間が5回で1時間半、7回で2時間を超えた場合は行わない。
- (10) 7回終了後に、次の試合の投手がブルペンで投球練習を行う場合は本部に申し出る。
また、該当チームの許可を得る。なお、試合の妨げにならないよう、暴投等に注意する。
- (11) 大会責任者は多治見工業梨ヶ瀬（球場責任者：中津川＝梨ヶ瀬（多治見工）、土岐＝林（麗澤瑞浪））とする。試合の中止または待機の決定は球場にて、試合該当の両校の部長・監督、および支部長が球場管理責任者と協議の上、原則として試合開始1時間前を目安として試合を定刻の開始か、あるいは遅らすか、または中止の決定をする。
- (12) 待機は1時間を目安とし、その後整備をして試合を再開する。グラウンド状態が回復しない場合はそれ以降の試合は中止とし、継続試合とする。なお、雨天等で第1試合の開始が遅れたときは、第1試合を実施し、日没を考慮して、第2試合以降を中止とする場合もある。
- (13) 警報等が出ているときは、大会本部より中止の決定を試合開始2時間前に連絡する。
（警報は岐阜県美濃地方または、東濃地方に出ている場合）
- (14) 試合が中止の時は、試合日程通り日程順に移動する。
- (15) 塁審が足りない場合は、該当校の顧問以外が担当する。
- (16) シートノックの補助員は、球つきを含めて5名までとしヘルメットを着用する。
- (17) 「1週間で500球」の投球制限について
 - ・試合終了後、勝利チームのスコアをもとに、各投手の投球数を確定させる。それを球場責任者及び当該校以外の第三者が確認する（本部確認欄に押印又はサイン）。

- (各チーム2試合目以降の試合前の)先攻・後攻決定時に、投球数確認表をメンバー用紙と一緒に提出し、「1週間で500球」を超過する場合や当該試合で超過する可能性があるかどうかを(球場責任者・球審・相手校の責任教師が)確認する。
 - 投球可能数が150球を下回る場合は、球場責任者及び当番校の部顧問でその投手の投球数をカウントし、(残り少なくなってきたら)投球可能数を球審と当該校の監督に伝える。当該校の監督は、その投手の投球数が超過する前(打席が完了していない場合は完了後)に降板させなければならない。
- (18) 健康面を考慮して、3日間連続の試合は実施しない。(順延した場合も適用される)
- (19) ウォーミングアップ時はグラウンドコートの着用を認める。
- (20) R8 春季大会より DH 制を採用する。

◎試合方法

1. 敗者復活を含むトーナメント戦により3位校までが県大会出場資格を得る。
2. 全ての試合(決勝も含む)にコールドゲーム(5回で10点差、7回で7点差)を適用する。
9回終了時に同点の場合は、10回より特別ルール(タイブレーク)を適用する。
3. 継続試合を採用する。